

# 医療情報研究室

室長 岡垣篤彦

平成23年12月に病院情報システムを更新しました。当院の病院情報システムは「カード型カルテ」と呼ぶユニークな入出力インターフェースを実装していますが、これは、ベンダー製電子カルテの使い勝手を安全かつ簡易に大幅に向上する仕組みで、当院で開発されたものです。電子カルテを使用する医療スタッフの要望を大きく取込むことが出来るという特徴があります。昨年は我々の仕組みが診療の質の向上に直接貢献しているというデータを発表しましたが、今後は各部門の要望を盛り込みつつ、「医療者が作る電子カルテ」の更なる操作性の向上を図り、医療の質の向上に貢献するシステムへと発展させていきたいと思っております。

当院の病院情報システムは一般的なベンダー製システムと比べて蓄積された医療情報を安全かつ容易に利用できるという特徴を持っており、褥瘡管理、病棟安全管理、感染情報管理などに使いやすい形に加工して供給しています。病院情報システムの膨大なデータをファイルメーカー、あるいはアクセスといった使いやすいツールに安全に転送し、一定のセキュリティーやルールを守った上で自在に分析する環境が整っています。

東北大震災以来、病院情報システムを緊急時にいかに運用するべきかという議論が盛んに行なわれています。当院は災害時の防災拠点であるため、無線LAN技術および仮想サーバーを使用した災害時の救急治療に貢献するシステムの研究も行なっています。

## 【2012年度研究発表業績】

A-1

Atsuhiko Okagaki: Hospital Information System at Osaka National Hospital: Input/Output and Reference System Using FileMaker:

Hospital End User Computing in Japan 50-70 Bentham Science Publishers IL, USA, Nov. 2012.

A-3

岡垣篤彦: 最新液晶タブレットによる電子カルテへの入力: 新医療、2012年11月号 (No455) 132-136、エムイー振興協会、東京、2012年11月

A-5

岡垣篤彦: ユーザーメイドシステムの費用対効果-大阪医療センターのカード型カルテ-: 第32回医療情報学連合大会論文集 124-127

B-4

岡垣篤彦、是恒之宏、楠岡英雄: 診療科のニーズに基づいてカスタマイズした電子カルテ記載欄の分析と標準規格との合致及び互換性について: 第16回日本医療情報学会春季学術大会、函館、2012年6月1日

岡垣篤彦: 大手ベンダーの電子カルテを包括するユーザーメイドシステムの制作と運用: J-SUMMITS Special Seminar、仙台、2012年6月8日

岡垣篤彦: ベンダー製電子カルテの参照系を作成する-患者待ち時間調査アプリ-Site Visits in 沖縄県立中

部病院、うるま市、2012年11月4日

岡垣篤彦：ユーザーメイドシステムの費用対効果-大阪医療センターのカード型カルテ-：第32回医療情報学連合大会（共同企画14ユーザーメイドシステムの費用対効果）、新潟、2012年11月17日

岡垣篤彦：全病院診療科別ユーザーインターフェース実装への工程管理-大阪医療センターのユーザーメイド開発-：日本ユーザーメイド医療IT研究会全国大会、岡山、2012年12月8日